



「SDGs 実施指針改定案(骨子)」へのパブリック・コメント

SDGs 実施指針改定の時期となり、パブリック・コメントを実施されることを歓迎します。

2030 アジェンダが謳う「誰ひとり取り残さずに、2030 年に持続可能な社会を実現するための変革」に向けた取り組みを加速するために、現「実施指針改定案(骨子)」に是非とも加えていただきたい記述をお届けします。

どうかよろしくご検討ください。

全体にかかるコメントとしては以下の6点を是非、検討してください。

1. 「誰ひとり取り残さない」という SDGs の中心理念が示している人権の重要性を実施指針全体、特に「序文」で明確に示してください。
2. 実施が滞っていると指摘されている「ジェンダー」「不平等」「気候変動」「生産・消費」「実施手段」「都市」への対応の緊急性と重要性を明確に示してください。
3. 特に「ジェンダー」については、前実施指針の以下の文言が削除されています。

前実施指針 4 実施のための主要原則 (2) 包摂性

「国際社会における普遍的価値としての人権の尊重と、ジェンダー平等の実現及びジェンダーの視点の主流化は、分野横断的な価値としてSDGsの全てのゴールの実現に不可欠なものであり、あらゆる取組において常にそれらの視点を確保し施策に反映することが必要である。また、ジェンダー平等の実現及びジェンダーの視点の主流化のためには、ジェンダー統計の充実が極めて重要であり、SDGsの実施において可能な限り男女別データを把握するよう努める。」

「包摂性」での記載が難しいのであれば、「5 今後の推進体制 (1) SDGs の主流化」の段落で、是非とも記載してください。上述した前実施指針が謳っているのは、「SDGsのあらゆる取組へのジェンダーの視点の主流化」であるはずです。

4. 2030 アジェンダを是非とも実現するという政府の責任感を明確に示してください。それがあって初めて「広報・啓発」も効果を発揮します。
5. 実施が滞っていると指摘されている「実施手段」との関連では、国家戦略たる「実施指針」と、2017年12月以降、定期的に策定されている「アクションプラン」の関係が明確に理解できるような記述を加えてください。
6. 達成度合いが高いと評価されている「教育」の分野においても、いわゆる「途上国」における完全就学率の達成や成人識字率の向上とは異なる課題がいくつもあります。「深刻ないじめ」「外国籍児童の不就学（文科省の2019年調査では義務教育相当年齢の外国籍の子どもの15.8%が不就学である可能性が判明しています）等の課題への対応の必要性を明記してください。

個別の記述への修正提案は以下のとおりです。

1 序文(1)2030 アジェンダの意義

修正提案:以下の文言を追加してください。「SDGsの実現にあたっては、世界人権宣言や日本が締約国である国際人権諸条約に留意し、「誰ひとり取り残さない」ために人権に基礎を置く。」

理由・背景:「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念の中心には人権の重要性があります。2030アジェンダのpara 19が示しているように世界人権宣言や国際人権諸条約にSDGs実施の基盤を置くことを明記してください。

1 序文(2)SDGs実施指針改定の意義

コメント:「システムレベルのアプローチ」という言葉が何を意味しているのか良くわかりません。誰にでも理解できる言葉で表現してください。

2 現状の分析(1)これまでの経緯 第1段落

コメント:「SDGsモデル」として「何を」掲げるのでしょうか。文章からは良く見えません。アクションプランということであるとすると、それはモデルと言えるものなのでしょうか。

2 現状の分析(1)これまでの経緯 第3段落

修正提案:政府における実施体制の強化、具体的には「各課題が省庁横断的に、統合的に扱

われ、SDGsの実現が可能になるような実施体制の構築」を明確に示してください。

3 ビジョンと優先課題 (2) 優先課題と SDGs アクションプラン

修正提案: (People 人間)に「ジェンダー平等の実現・ジェンダー格差の解消」を加えてください。実施が滞っていると指摘されている課題への対応の重要性を明確に示してください。

5 今後の推進体制 (2) 政府の体制 第3段落と第4段落

修正提案: 第3段落「実施指針の取組状況の確認(モニタリング)、見直し」、第4段落「アクションプランの策定、見直し」のためには評価が不可欠です。「実施指針の取組状況の確認(モニタリング)、評価、見直し」「アクションプランの策定、評価、見直し」とし、そのために必要なデータの特定と収集をおこなうことを、あわせて明記してください。

(3) 主なステークホルダーの役割 ア ビジネス

修正提案: バックカスティングの視点が最も求められるのはビジネス・セクターです。また「生産・消費」も非常に重要です。第1段落は「それぞれの企業が経営戦略の中に SDGs を据え、バックカスティングの視点に立って SDGs を個々の事業戦略に落とし込む」としてご下さい。また、「ゼロ・エミッションを始めとする、生産手段と様式の変革を進める」という文言を加えてください。

(3) 主なステークホルダーの役割 ウ 市民社会

修正提案: 「ウ 市民社会」と「オ 新しい公共」の違いが不明確です。統合的に記述しては如何でしょうか。

(3) 主なステークホルダーの役割 ウ 市民社会

修正提案: 「ウ 市民社会」の「取り残されている人々、取り残されがちな人々」という表現では往々にして抽象的な理解にとどまり、実際には目が向けられない可能性があります。「取り残されている人々、取り残されがちな人々には、女性、子ども、若者、障害者、外国籍住民、HIV/エイズとともに生きる人々、高齢者、先住民族、難民、国内避難民、移民などが含まれる。不平等や差別の複合性・交差性にも十分に配慮する。」という文言を加え、どんな人たちかを、より明確に示してください。